Osaka University Knowledge Archive

Title	吹田分室のヘリウム液化装置の更新について
Author(s)	
Citation	大阪大学低温センターだより. 1995, 91, p. 19-19
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/9297
rights	
Note	

Osaka University Knowledge Archive : OUKA

https://ir.library.osaka-u.ac.jp/

Osaka University

お知らせ

吹田分室のヘリウム液化装置の更新について

低温センター

ご承知の方も多いかと存じますが、平成７年度の特別設備費において低温センター吹田分室のヘリウム液化装置の更新が認められました。これまで吹田分室では、年々増加する吹田地区における液体ヘリウム需要に対し液化機・圧縮機の改造、蛋白質研究所の液化装置の利用などにより対処してまいりましたが、液化システム自体の能力が低かったため慢性的な供給不足の状態が続いておりました。そこで、平成４年度に豊中分室における液化装置の更新が行われたのに引き続く形で、吹田分室の液化装置更新に関する概算要求に着手し、液化ヘリウム供給体制の強化を目指して参りました。おかげさまで、豊中分室からわずか３年という短期間のうちに、吹田分室も液化装置更新の運びとなりました。これはひとえに、金森総長並びに事務局および理学部・工学部事務部の方々のご理解とご尽力のおかげと感謝いたしております。また、文部省に対しましても格段の配慮を賜わしましたことを厚くお礼申し上げます。

新装置は、吹田分室に26年前に設置された液化装置の後継機として導入され、今後10年以上にわたって吹田地区の液体ヘリウム需要に対応できるように計画されています。液化能力は毎時125リットルと現在のシステムの５倍以上の性能を有し、一度に数百リットルという大量の液体ヘリウムを消費する実験にも対応可能となります。また、液化システムの変更に伴って、液体窒素タンクも現在の容量３トンから10トンのものに置き換えることになります。

なお、本装置更新に伴う工事によりまして、利用者並びに吹田分室周辺の学科・センターの皆さま方には何かとご迷惑をお掛けすることになります。大型ヘリウム液化室が約半年間にわたり工事のため使用できなくなるため、小口供給を暫く休止せざるを得なくなります。また、工事が大規模なものとなるため、作業用車両や資材置場として、吹田分室北側の駐車場を使用することになります。大変ご迷惑をお掛け致しますが、何卒ご理解の上、ご協力下さいますよう宜しくお願い致します。工事期間中のセンター業務及び詳細な工事スケジュールにつきましては、次号の「低温センターだより」にてお知らせ致します。

この件に関するお問い合わせ先：

低温センター吹田分室

電　　話：内線3965（学外からは 06-879-7985）

ファクシミリ：内線7986（学外からは 06-879-7986）

電子メール：liquefier@ltc.osaka-u.ac.jp

液化装置更新に関しましては、ODINS（インターネット）上に開設しているWWWホームページ（http://www.ltc.osaka-u.ac.jp/suita/liquefier/）において情報提供を行っています。最新の詳しい情報はこちらをご覧下さい。